

ケーススタディ③全住民のアドレスホッパー化における住宅の再定義

アドレスホッパーとは

特定の住所に恒常に定住することを前提とせず

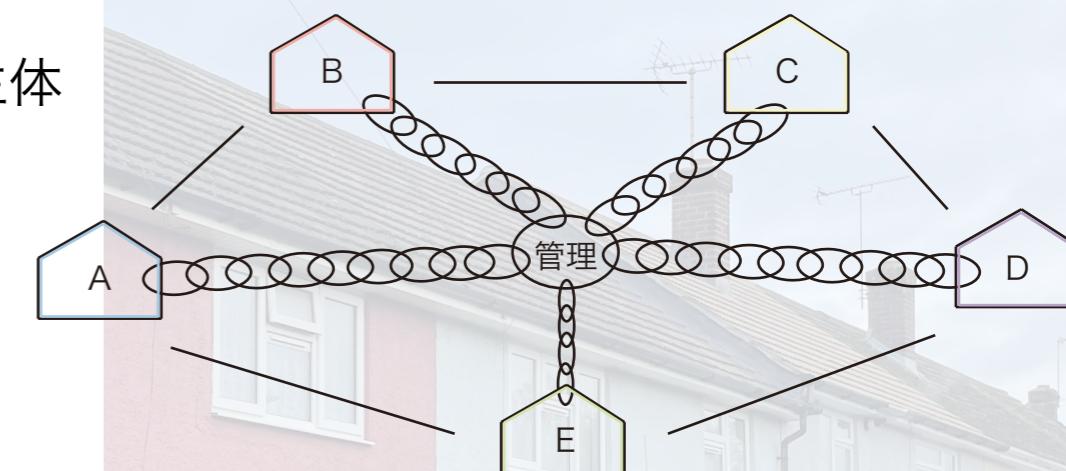
複数の居住地や滞在拠点を横断的に利用しながら生活する主体



住宅が「居住インフラ」として再定義される

「売る」「買う」ではなく

「空く」「使われる」対象として循環する



管理主体の「運用上のチェーン」

住宅ストックとして再定義される

評価軸の転換によって、戸建てよりも集合住宅の価値が高くなりうる